

柏崎周辺地区の事業の効用に関する説明資料

1. 地区の概要

- (1) 地 域：新潟県柏崎市（旧柏崎市・旧西山町）、刈羽村
 (2) 受 益 面 積：3,590ha
 (3) 事 業 目 的：用水改良 3,590ha
 (4) 主要工事計画：ダム3ヶ所、頭首工2ヶ所、幹線導水路5.7km、幹線用水路2.4km
 (5) 国 営 事 業 費：42,000百万円（平成24年度時点：45,472百万円）
 (6) 工 期：平成9年度～平成31年度（平成 9年度～28年度：工事期間）
 （平成29年度～31年度：施設機能監視期間）

2. 投資効率の算定

区 分	算 定 式	数値(千円)	備 考
総事業費	①	83,907,803	
年総効果額	②	4,693,751	
廃用損失額	③	446,800	廃止する施設の残存価値
総合耐用年数	④	48 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0524	総合耐用年数に応じ年効果額から妥当投資額を算定するための係数(T=17年)
妥当投資額	⑥=②/⑤-③	89,128,600	
投資効率	⑦=⑥/①	1.06	

3. 年総効果額の総括

区分 効果項目	年総効果額 (千円)	効 果 の 要 因
作物生産効果	666,896	用水の安定供給、立地条件の好転に伴う農業生産の増減効果
営農経費節減効果	2,550,517	面整備及び用水改良に伴う営農経費の節減効果
維持管理費節減効果	△ 14,807	農業水利施設の維持管理費用に係る増減効果
更新効果	934,639	既存施設の改修により、現在の機能が維持・存続される効果
非農用地等創設効果	547	事業実施に併せて非農用地設定を行うことで合理的かつ経済的に用地を取得できる効果
安全性向上効果	12,194	安全施設の整備により、施設周辺の安全性が向上する効果
文化財発見効果	7,234	埋蔵文化財が具現化される効果
公共施設保全効果	59,571	ダム建設に伴い道路の付け替えを行うことにより既設道路の機能が維持される効果及び走行経費が増減する効果
河川流況安定効果	411,321	ダム建設による水源開発に伴い下流域の利水可能量が増加する効果
地籍確定効果	13,092	事業実施によって国土調査が未実施の土地の地籍が明確になる効果
水辺環境整備効果	464	親水性、生態系及び景観に配慮した構造とすることにより周辺の水環境の保全、住民の「憩いの場」が創出される効果
保健休養機能向上効果	52,083	後谷ダム周辺を修景的に利活用することで地域住民や都市住民との交流の場が創出される効果
計	4,693,751	
廃用損失額	446,800	耐用年数が尽きていない廃用施設の残存価値

4. 効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業実施に伴い用水の安定供給やほ場条件の改善が図られ、作物生産の量的増減に関する効果で、具体的な効果要因としては、用水不足に起因する干害防止効果、関連ほ場整備の実施による乾田化効果、用水の安定供給による水管理改良効果、作物別作付面積の増減効果、水田畑利用で連作障害等が防止される田畑輪換効果を計上する。

○対象作物：水稻、大豆、えだまめ、さといも、きゅうり、なす、ばれいしょ、トマト、

切り花(スイセン)、ねぎ、大麦、だいこん、キャベツ、はくさい、ブロッコリー

○効果算定式：作物別生産増減量×生産物単価×純益率

○年効果額の算定：(算定例：水稻、えだまめ、ばれいしょ)

作物名	作付面積(ha)			効果 要因	単収増	増 加 生産量	単 価	増 加 粗収益	純 益 率	年効果額
	現況	計画	増減		(kg/10a)	(t)	(千円/t)	(千円)	(%)	(千円)
水 稻	① 1,865	② 1,838	③=②-① △27	作付減	④(現況) 519	⑤=③×④ △140	⑥ 288	⑦=⑤×⑥ △40,320	⑧ 1	⑨=⑦×⑧ △403
		1,838		単収増 (干害)	④(増) 1.5	⑤=②×④ 28	⑥ 288	⑦=⑤×⑥ 8,064	⑧ 74	⑨=⑦×⑧ 5,967
		85		単収増 (乾田化1)	④(増) 31	⑤=②×④ 26	⑥ 288	⑦=⑤×⑥ 7,488	⑧ 74	⑨=⑦×⑧ 5,541
		855		単収増 (乾田化2)	④(増) 16	⑤=②×④ 137	⑥ 288	⑦=⑤×⑥ 39,456	⑧ 74	⑨=⑦×⑧ 29,197
		35		単収増 (水管理改良1)	④(増) 16	⑤=②×④ 6	⑥ 288	⑦=⑤×⑥ 1,728	⑧ 74	⑨=⑦×⑧ 1,279
		1,513		単収増 (水管理改良2)	④(増) 10	⑤=②×④ 151	⑥ 288	⑦=⑤×⑥ 43,488	⑧ 74	⑨=⑦×⑧ 32,181
				計						73,763
えだまめ	① 0	② 92	③=②-① 927	作付増 計	④(計画) 338	⑤=③×④ 311	⑥ 543	⑦=⑤×⑥ 168,873	⑧ 28	⑨=⑦×⑧ 47,284
										47,284
ばれいしょ	① 21	② 155	③=②-① 134	作付増	④(計画) 2,092	⑤=③×④ 2,803	⑥ 93	⑦=⑤×⑥ 260,679	⑧ 22	⑨=⑦×⑧ 57,349
				単収増 (湿潤かんがい)	④(増) 273	⑤=①×④ 57	⑥ 93	⑦=⑤×⑥ 5,301	⑧ 79	⑨=⑦×⑧ 4,188
				計						61,537
総計										666,896

※主な作物を事例として示す。その他の作物も含めた詳細については「柏崎周辺地区の事業の効果に関する詳細」を参照

- ・作付面積：現計画の受益面積から、平成9年度～平成23年12月までの転用面積を差し引いた。
- ・導入作物及び作物別の作付率：

導入作物は現計画から変更しない。作物別の作付率は、現計画の作付率をベースに関係市町村の直近5ヶ年（平成18年度～平成22年度）における転作実績を考慮し設定した。
- ・作物単収：現況単収は、新潟農林水産統計年報の直近年5ヶ年平均（水稻・大豆：平成17年次から平成21年次、その他作物：平成14年次から平成17年次）のとした。スイセンについては統計に記載がないことから大崎水仙組合に聞き取り整理した。計画単収は、現況単収に作物別の増収率「改訂：土地改良の経済効果P612～（作物生産効果要因別増収率）」を乗じて整理した。
- ・作物単価：平成23年度県営及び団体営土地改良事業計画の経済効果測定のための標準値について（北陸農政局農村計画部）から整理した。
- ・純益率：土地改良事業における経済効果の測定に必要な諸係数通達から整理した。スイセンは、最近年の経営指標が作成されていないことから現計画時数値を消費者物価指数、支出済換算係数で換算して純益率を算定した。

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業実施によるほ場の大区画化、乾田化等に伴い、機械作業効率が向上し、労働費及び機械稼働経費等、作物生産に要する営農費用が節減される効果を計上する。

また現計画時点において目標としていた計画区画は30aであるが、実施中地区の県営ほ場整備事業【北鯖石東部地区】、【南条地区】、【高田北部地区】では50a～100a区画の計画で事業が進められているため、今後は場整備事業を予定している地区は、上記3地区を考慮して効果発生面積の整理を行い年効果額を算定する。

○対象作物：水稻、大豆、ばれいしょ、大麦、さといも、なす

○効果算定式：(現況単位面積当り営農経費－計画単位面積当り営農経費)×効果発生面積

○年効果額：算定例

区画整理の水稻：小区画湿田→100a区画乾田

水管理改良のみの水稻：30a乾田→30a乾田

区画整理の転作作物：小区画乾田→30a区画乾田

作物名	ha 当 たり 営農経費				ha 当 たり 節減額(円)	効果発生面積 (ha)	年効果額 (千円)
	労働費(円)		機械等経費(円)		⑤=(①+③) -(②+④)	⑥	⑦=⑤×⑥
	現 況①	計 画②	現 況③	計 画④			
水稻 (区画整理) (水管理改良)	844,530	152,403	1,419,359	601,075	1,510,411	549	829,216
水稻 (水管理改良)	194,920	174,700	689,012	689,012	20,220	265	5,358
大豆 (区画整理)	281,058	183,732	577,171	176,005	498,492	127	63,308
ばれいしょ (区画整理)	1,550,874	1,015,719	1,254,454	412,311	1,377,298	132	181,803
総 計							2,550,517

※主な作物を事例として示す。その他の作物も含めた詳細については「柏崎周辺地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・現況・計画の営農体系（作業体系、所要時間等）：現計画に準拠する。
- ・機械経費：現計画（平成7年度単価）の時間当り機械経費に平成22年度を1.000とした支出済み換算係数を乗じて整理した。ただし、50a～100a区画については、県営ほ場整備事業【北鯖石東部地区】、【南条地区】、【高田北部地区】の事業計画書（経済効果算定資料）で整理している機械経費に平成22年度を1.000とした支出済み換算係数を乗じて整理した。
- ・人件費：平成23年度県営及び団体営土地改良事業計画の経済効果測定のための標準値について（北陸農政局農村計画部）から整理した。（平成21年産米生産費調査「農林水産省統計部」における労働費及び労働時間を平成22年消費者物価指数（推定値）で換算した数値）
- ・効果発生面積：関連する面的整備事業の計画作付面積とする。

(3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業実施による土地改良施設の新設、改修及び廃止に伴い、現況の用水管理や施設の維持管理に要していた経費が増減する効果を計上する。

- 対象施設：現況施設：井堰、用水路、揚水機、集水井、ため池
計画施設：ダム、頭首工、導水路、用水路、揚水機

○効果算定式：現況施設の維持管理費－計画施設の維持管理費

○年効果額の算定

現況維持管理費 (千円) ①	計画維持管理費 (千円) ②	年効果額(千円) ③＝①－②	備 考
210,087	224,894	△14,807	

- ・現況管理費（①）：事業計画に大きな変更はないことから、現計画時に整理した5ヵ年平均（平成3年度～平成7年度）の維持管理費に、平成22年度を1.000とした支出済み換算係数を乗じて整理した。
- ・計画管理費（②）：事業計画に大きな変更はないことから、現計画時に算定した工事費（平成7年度単価）に、平成22年度を1.000とした支出済み換算係数を乗じて現在換算工事費を算出し、これに現計画時に設定した施設ごとの維持修繕率（％）を乗じて整理した。ただし、国営事業で改修する施設については平成23年4月現在の事業費を整理し、これに維持修繕率（％）を乗じて整理した。

(4) 更新効果

○効果の考え方

既存施設の老朽化によって、施設機能の減退・喪失が予想される施設を更新することにより、既存施設の機能及び従前の農業生産が維持される効果を計上する。

- 対象施設：井堰、用水路、揚水機、集水井、ため池等

○効果算定式：最経済的事業費×還元率

○年効果額の算定（算定例：頭首工、ため池、用水路）

対 象 施 設	最経済的 事業費 (千円) ①	還元率 ②	年効果額 (千円) ③＝①×②	備 考
藤井堰	218,988	0.0466	10,205	耐用年数50年
ため池(灰爪掛18箇所)	405,378	0.0418	16,945	耐用年数80年
藤井東江用水路	827,520	0.0505	41,790	耐用年数40年
計			934,639	

※主な施設を事例として示す。その他の施設も含めた詳細については「柏崎周辺地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・最経済的事業費（①）：現況施設と同じ機能を有する施設の再建設に要する事業費。
- ・還元率（②）：各施設の耐用年数と割引率をもとに算出される係数。
- ・その他施設についても同様に更新効果を算定。

(5) 非農用地創設効果

○効果の考え方

関連する面的整備事業の実施に伴い、換地手法を用いて先行的、計画的に非農用地を創設することにより、合理的かつ経済的に用地が取得できる効果を計上する。

○対象施設：関連ほ場整備事業内の農道及び市道用地

○効果算定式：(想定経費－計画経費) × 還元率

○年効果額の算定

非農用地 区分	想定経費 (千円)①	計画経費 (千円)②	差引経費(千円) ③=①-②	耐用年数 n (年)	還元率 ④	年効果額 ⑤=③×④
農道用地	12,771	771	12,060	100	0.0408	492
市道用地	1,419	80	1,339	100	0.0408	55
計						547

- ・ 想定経費(①)：実施中の県営ほ場整備事業【北鯖石東部地区】、【南条地区】の事業計画書（経済効果算定資料）で整理されている単位当たり想定経費を基に、平成22年度を1.000とした支出済み換算係数を乗じて整理した。
- ・ 計画経費(②)：実施中の県営ほ場整備事業【北鯖石東部地区】、【南条地区】の事業計画書（経済効果算定資料）で整理されている単位当たり計画経費を基に、平成22年度を1.000とした支出済み換算係数を乗じて整理した。
- ・ 還元率(④)：土地の耐用年数100年を適用し、割引率をもとに算出される係数。

(6) 安全性向上効果

○効果の考え方

既設の幹線用水路改修に伴い、土地改良施設の一部として住民の安全性の確保面から、安全防止柵等の設置が社会的要請としてあり、施設整備により周辺地域の事故率の減少、精神的安定の確保等、その安全性が向上する効果を計上する。

○対象施設：幹線用水路安全防止柵

○効果算定式：安全性確保投資額×還元率

○年効果額の算定

安全施設名	安全性確保投資額 (千円)①	耐用年数 n (年)	還元率 ②	安全性向上効果 (千円)③=①×②
ガードパイプ、フェンス	98,889	10	0.1233	12,194
計				12,194

- ・ 安全性確保投資額(①)：安全施設の設置計画について、ガードパイプは現計画から変更がないことから、再建設費用（平成7年度単価）に、平成22年度を1.000とした支出済み換算係数を乗じて整理した。また、右岸幹線水路についても、平成17年度～平成19年度にかけて、フェンス、ガードレールが設置されており、再建設費用（各工事年度単価）に、平成22年度を1.000とした支出済み換算係数を乗じて整理した。
- ・ 還元率(②)：耐用年数をガードパイプ10年を適用し、割引率をもとに算出される係数。

(7) 文化財発見効果

○効果の考え方

事業実施に伴い、付随的に地区内の埋蔵文化財が具現化することで、文化財の価値が明確になる効果を計上する。

○対象施設：文化財

○効果算定式：経費(文化財に係る調査、発掘及び保存に要する経費の内土地改良事業で支出する経費)×還元率

○年効果額の算定

経費区分	土地改良事業で支出する経費(千円)①	耐用年数 n(年)	還元率 ②	年効果額(千円) ③=①×②
調査費及び発掘費	177,313	100	0.0408	7,234
計				7,234

- ・土地改良事業で支出する経費(①)：平成15年度から平成23年度に支出された経費を、平成22年度を1.000とした支出済み換算係数を乗じて整理した。
- ・還元率(②)：土地の耐用年数100年を適用し、割引率をもとに算出される係数。

(8) 公共施設保全効果

○効果の考え方

ダムを新設する際に一般道路や林道の付替等を補償工事として行うことで、地域の利便性が確保されるとともに、対象施設の耐用年数が増加するなど付随的に便益が向上する効果を計上する。

○対象施設：後谷ダム、枳ヶ原ダム、市野新田ダム

○効果算定式：妥当投資額(維持管理費節減効果+更新効果+一般交通等経費節減効果)×還元率

○年効果額の算定

当該土地改良事業の総合耐用年数に応じた資本還元率 ①	修正維持管理費節減効果		修正更新効果		修正一般交通等経費節減効果		計	
	妥当投資額 ②	年効果額 ③= ②×①	妥当投資額 ④	年効果額 ⑤= ④×①	妥当投資額 ⑥	年効果額 ⑦= ⑥×①	妥当投資額 ⑧=②+ ④+⑥	年効果額 ⑨= ⑧×①
0.0524	(千円) △95,010	(千円) △ 4,978	(千円) 1,225,089	(千円) 64,194	(千円) 6,772	(千円) 355	(千円) 1,136,851	(千円) 59,571
総合耐用年数 48年								

- ・妥当投資額：年効果額を施設別の耐用年数に応じた還元率で除した値で整理。
- ・当該土地改良事業の総合耐用年数に応じた資本還元率：
本事業の総合耐用年数(48年)、T係数(17年)及びを適用し、割引率をもとに算出される係数。

(9) 河川流況安定効果

○効果の考え方

ダム建設による水源開発に伴う、かんがい用水の取水量の増加により、ほ場から河川への還元水が増加し、河川の流況を安定させることにより、下流域における河川水の潜在的な利水可能量が増加する効果を計上する。

○対象施設：後谷ダム、栃ヶ原ダム、市野新田ダム

○効果算定式：流況安定化寄与水量×原水単価×還元率

○年効果額の算定

水系名	流況安定化 寄与水量(m3) ①	原水開発 単価(円/m3) ②	妥当投資額 (千円) ③=①×②	耐用年数 (ダム) (年)	資本還元率 ④	年効果額 (千円) ⑤=③×④
鯖石川水系	498,303	10,479	5,221,717	80	0.0418	218,268
鵜川水系	258,771	10,479	2,711,658	80	0.0418	113,347
別山川水系	181,967	10,479	1,906,832	80	0.0418	79,706
計	939,041		9,840,207			411,321

- ・寄与水量(①)：計画における最下流取水地点における現況の取水量及び地区内利用可能量と計画の取水量及び地区内利用可能量(有効雨量、反復利用を除く)を比較し、計画が現況を上回る利用水量を算定するもので、水源開発量に変更はなく、施設計画も変わらないことから現計画と同じとする。
- ・原水開発単価(②)：施設毎のダム容量及び事業費の相関から算定するもので、現計画時の原水開発単価(平成7年度単価)に、平成22年度を1.000とした支出済み換算係数を乗じて整理した。
- ・還元率(④)：ダムの耐用年数80年を適用し、割引率をもとに算出される係数。

(10) 地籍確定効果

○効果の考え方

関連する面的整備事業等の実施に伴い、区画が整形化され、換地により地籍が明確になり、土地改良財産の管理の適正化、住民間の土地に係るトラブル防止等が可能となる効果を計上する。

○対象施設：関連ほ場整備

○効果算定式：(現況国土調査費-計画国土調査費)×地籍明確面積×還元率

○年効果額の算定

現況経費 (千円)①	計画経費 (千円)②	耐用年数 (年)③	還元率 ④	年効果額(千円) ⑤=(①-②)×④
320,891	526	100	0.0408	13,092

- ・現況経費(①)：「地籍調査等事業費算定要領」に基づき地区条件から積算された現計画時の現況経費(平成7年度単価)に、平成22年度を1.000とした支出済み換算係数を乗じて整理した。
- ・計画経費(②)：認証申請に必要な経費が見込まれている現計画時の計画経費(平成7年度単価)に、平成22年度を1.000とした支出済み換算係数を乗じて整理した。
- ・還元率(④)：土地の耐用年数100年を適用し、割引率をもとに算出される係数。

(11) 水辺環境整備効果

○効果の考え方

事業実施に伴い、改修・新設させる施設を周辺景観、親水性、生態系に配慮した構造とすることにより、地域住民に憩いの場を提供するとともに、水辺環境が保全される効果を計上する。

○対象施設：右岸幹線水路、後谷ダム

○効果算定式：親水・景観に配慮した投資経費×還元率

○年効果額の算定

投資施設名		環境配慮 追加投資額 (千円) ①	還元率 ②	年効果額 (千円) ⑤=①×②	備 考
1	【右岸幹線水路 親水エリア工】				
	水路本体	3,316	0.0505	167	耐用年数40年
	アスファルト舗装	832	0.1233	103	耐用年数10年
	路盤工	277	0.0505	14	耐用年数40年
	ふち石工	693	0.0466	32	耐用年数50年
	除草シート	208	0.1233	26	耐用年数10年
	人道橋	416	0.0483	20	耐用年数45年
	張芝	485	0.0483	44	耐用年数15年
2	【後谷ダム 生態系保全エリア工】				
	湧水処理工	245	0.0673	16	耐用年数23年
	管理用通路設置工	463	0.0899	42	耐用年数15年
合 計		6,935		464	

- ・環境配慮追加投資額(①)：出来高設計書(平成18年度：右岸幹線、平成21年度：後谷ダム)より、平成22年度を1.000とした支出済み換算係数を乗じて整理した。
- ・還元率(②)：各施設の耐用年数し、割引率をもとに算出される係数。

(12) 保健休養機能向上効果

○効果の考え方

事業で建設されるダムを修景的に利活用してダム周辺に各種レクリエーション施設等を設置することにより、地域住民等の憩いの場の提供や観光資源として利活用でき、付随的に経済的便益をもたらす効果を計上する。

○対象施設：後谷ダム

○効果算定式：施設利用効果(年収益額×効用指数)＋修景的利用効果(年収益額×効用指数)

○年効果額の算定

区分	農業投資サイド		レクリエーション投資サイド		コスト1単位	効用指数	年効果額
	投資資本額 ① (千円)	年増加純益額 ② (千円)	投資資本額 ③ (千円)	年収益額 ④ (千円)	当たり便益 ⑤=(②+④) ÷ (①+③)	⑥= (④-③×⑤) ÷ ④	(千円) ⑦=④×⑥
利活用目的							
修景的利用	241,414	277,202	42,724	110,815	1.37	0.47	52,083

- ・ 農業投資資本額(①)：農業用施設の資本還元額で、平成23年度時点の後谷ダムに係る支出済み総事業費に平成22年度を1.000とした支出済み換算係数を乗じて整理した。(農業施設の耐用年数はダム：80年とする。)
- ・ 農業投資年増加純益額(②)：当該事業における年増加純益額に、総事業費(当該・関連)に占める後谷ダムの資本還元額割合を乗じて算定する。
- ・ レク投資資本額(③)：レクリエーション施設の資本還元額。
- ・ レク年収益額(④)：レク事業の年収益額。
- ・ コスト1単位当たり便益(⑤)：(農業用施設等相当年増加純益額＋レクリエーション施設追加後の年収益額)÷(農業用施設等相当事業費の資本還元額＋レクリエーション施設事業費の資本還元額)
- ・ 効用指数(⑥)：レクリエーションに係る純益のうち、農業用施設等が発生させる割合。

(13) 廃用損失額

○効果の考え方

廃止、改修を行う施設のうち、耐用年数が尽きていない施設については、廃止、改修によって施設の有する残存価値が失われる。この価値を廃用損失額(デッドコスト)として算定する。

○対象施設：井堰、ため池、集水井、用水路、揚水機場、公共施設等

○効果算定式：償却資産額×残存率

○廃用損失額の算定(算定例：頭首工、用水路、公共施設)

現況施設 (廃用施設)	設置年	償却資産額 (千円) ①	残 存 率			廃用損失額 (千円) ⑤=①×④
			廃用時までの 使用年数②	今後の使用 可能年数③	残存率 ④=③/(②+③)	
下川原堰	S46	112,480	45	5	0.100	11,248
藤井東江用水路	S58	827,520	33	7	0.175	144,816
県道	S30	758,625	54	-	-	0
計						446,800

- ・ 償却資産額(①)：現計画時の償却資産額(平成7年度単価)に、平成22年度を1.000とした支出済み換算係数を乗じて整理した。

5. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省構造改善局計画部(監修)(1988)「[改訂]解説土地改良の経済効果」大成出版社
- ・北陸農政局(平成9年3月)国営柏崎周辺土地改良事業計画書
- ・北陸農政局(平成9年3月)国営柏崎周辺土地改良事業計画書(添付資料)
- ・北陸農政局農村計画部事業計画課(平成20年3月)平成19年度 国営土地改良事業等再評価における費用対効果分析結果(国営かんがい排水事業柏崎周辺地区)
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について(平成19年3月28日農林水産省農村振興局企画部長通知(一部改正:平成24年4月24日農林水産省農村振興局整備部長通知))
- ・国営柏崎周辺地区土地改良事業計画書(案)(添付資料)効果編別冊 平成8年10月
- ・北陸農政局農村計画部 事務連絡 H23標準値(参考値)の修正 各県H230804.pdf
- ・国営土地改良事業における建設利息率の算定について(平成10年11月13日農林水産省構造改善局計画部事務連絡)

【総事業費】

- ・柏崎周辺 一期事業事業費決算額
- ・平成22年度会計実地検査提出調書(地方農政局分) 平成23年4月 北陸農政局
- ・国営かんがい排水事業に付帯する関連事業の事業管理調書(平成24年度版)平成24年3月作成
- ・柏崎周辺地区関連事業管理表(平成24年度版)平成24年3月作成
- ・県営かんがい排水事業柏崎1期、2期 事業の年度別実施計画 平成22年度出来高見込

【効果算定】

- ・北陸農政局新潟農政事務所「新潟農林水産統計年報(農業編)」農林水産統計協会(平成17～22年)
- ・平成7年国勢調査(<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do>)
- ・平成12年国勢調査(<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do>)
- ・平成17年国勢調査(<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do>)
- ・平成22年国勢調査(<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do>)
- ・農林水産省統計部(平成13年)「2000年農林業センサス新潟県統計書」農林水産統計協会
- ・農林水産省統計部(平成18年)「2005年農業センサス新潟県統計書」農林水産統計協会
- ・農林水産省統計部(平成23年)「2010年農林業センサス新潟県統計書」農林水産統計協会
- ・H23年度県営及び団体営土地改良事業の経済効果測定のための諸基準値等について(新潟県農地部農地計画課)
- ・柏崎市遺跡分布地図(柏崎市教育委員会)
- ・平成23年度 柏崎周辺(二期)農業水利事業受益面積移行調査業務 報告書 平成23年12月
- ・平成20年度中山間地域総合整備事業 別俣地区 調査計画業務 3次委託経済効果算定資料
- ・平成21年度県営経営体育成基盤整備調査計画 高田北部地区調査計画業務 2次委託報告書 平成22年3月
- ・H22新規希望 県営中山間地域総合整備事業 西山内郷地区 その2
- ・平成21年度 県営中山間総合整備調査計画(一般型) 西山内郷地区 調査計画業務 3次委託 平成22年2月
- ・県営善根地区区画整理事業計画書 経営体育成基盤整備事業(面的集積型)
- ・引継施設関係綴(後谷ダム付替道路)、引継施設整理台帳
- ・H22 枋ヶ原ダム 左岸付替道路の引渡し、H22 枋ヶ原ダム 右岸付替道路の引渡し
- ・【柏崎市】平成23年度防火水槽発注工事.xls
- ・【柏崎市より】稲転率.pdf
- ・【文化財発見効果】後谷ダム:宝童寺遺跡.pdf
- ・【埋文調査:天皇峰遺跡】H23実_施計画.pdf
- ・【埋文調査:天皇峰遺跡】当初計画.pdf
- ・【柏崎市・刈羽村】認定農業者数の推移調書.xls
- ・その他公表されていない諸元については、北陸農政局柏崎周辺農業水利事業所調べ(平成23年度)

柏崎周辺地区の事業の効用に関する詳細

1. 投資効率の算定

区 分	算 定 式	数値(千円)	備 考
総事業費	①	83,907,803	
年総効果額	②	4,693,751	
廃用損失額	③	446,800	廃止する施設の残存価値
総合耐用年数	④	48 年	当該事業の耐用年数
還元率× (1 + 建設利息率)	⑤	0.0524	総合耐用年数に応じ年効果額から妥当投資額を算定するための係数 (T=17年)
妥当投資額	⑥=②/⑤-③	89,128,600	
投資効率	⑦=⑥/①	1.06	

2. 年総効果額の総括

区分 効果項目	年総効果額 (千円)	効 果 の 要 因
作物生産効果	666,896	用水の安定供給、立地条件の好転に伴う農業生産の増減効果
営農経費節減効果	2,550,517	面整備及び用水改良に伴う営農経費の節減効果
維持管理費節減効果	△ 14,807	農業水利施設の維持管理費用に係る増減効果
更新効果	934,639	既存施設の改修により、現在の機能が維持・存続される効果
非農用地等創設効果	547	事業実施に併せて非農用地設定を行うことで合理的かつ経済的に用地を取得できる効果
安全性向上効果	12,194	安全施設の整備により、施設周辺の安全性が向上する効果
文化財発見効果	7,234	埋蔵文化財が具現化される効果
公共施設保全効果	59,571	ダム建設に伴い道路の付け替えを行うことにより既設道路の機能が維持される効果及び走行経費が増減する効果
河川流況安定効果	411,321	ダム建設による水源開発に伴い下流域の利水可能性が増加する効果
地籍確定効果	13,092	事業実施によって国土調査が未実施の土地の地籍が明確になる効果
水辺環境整備効果	464	親水性、生態系及び景観に配慮した構造とすることにより周辺の水環境の保全、住民の「憩いの場」が創出される効果
保健休養機能向上効果	52,083	後谷ダム周辺を修景的に利活用することで地域住民や都市住民との交流の場が創出される効果
計	4,693,751	
廃用損失額	446,800	耐用年数が尽きていない廃用施設の残存価値

(1) 作物生產效果

[illegible]

(2) 営農経費節減効果

作物名	h a 当たり営農経費				ha当たり節減額 (円) ⑤= (①+③)-(②+ ④)	効果発生面積 (ha) ⑥	年効果額 (千円) ⑦=⑤×⑥
	労働費 (円)		機械等経費 (円)				
	現 況 ①	計 画 ②	現 況 ③	計 画 ④			
水稲	734,660	174,700	1,234,706	689,012	1,105,654	8	8,845
	629,516	174,700	1,388,956	689,012	1,154,760	102	117,786
	634,908	174,700	1,417,553	689,012	1,188,749	238	282,922
	194,920	174,700	689,012	689,012	20,220	265	5,358
	844,530	156,963	1,419,359	619,060	1,487,866	495	736,494
	844,530	152,403	1,419,359	601,075	1,510,411	549	829,216
【北鯖石東部】水稲	730,616	164,321	1,256,981	621,884	1,201,392	32	38,445
【北鯖石東部】水稲	730,616	145,450	1,256,981	618,245	1,223,902	46	56,299
【南条】水稲	734,660	157,717	1,256,981	596,818	1,820,871	30	54,626
【南条】水稲	734,660	138,980	1,840,746	585,905	1,850,521	25	46,263
【高田北部】水稲	651,084	164,051	1,804,863	638,539	1,653,357	12	19,840
【高田北部】水稲	651,084	148,011	1,804,863	627,723	1,680,213	11	18,482
大麦	173,892	89,642	567,910	242,391	409,769	78	31,962
大豆	281,058	183,732	577,171	176,005	498,492	127	63,308
ばれいしょ	1,550,874	1,015,719	1,254,454	412,311	1,377,298	132	181,803
さといも	1,769,250	1,392,081	1,371,858	809,949	939,078	29	27,233
なす	4,134,990	3,821,042	1,530,926	1,054,027	790,847	40	31,634
総計							2,550,517

(3) 維持管理費節減効果

現況維持管理費 (千円) ①	計画維持管理費 (千円) ②	年効果額(千円) ③=②-①	備考
210,087	224,894	△ 14,807	

(4) 更新効果

対象施設	最経済的事業費 (千円) ①	還元率 ②	年効果額 (千円) ③=①×②	備考
井堰				
藤井堰	218,988	0.0466	10,205	耐用年数50年
善根堰	88,480	0.0466	4,123	耐用年数50年
一の堰	20,691	0.0466	964	耐用年数50年
二の堰	96,516	0.0466	4,498	耐用年数50年
三の堰	5,173	0.0466	241	耐用年数50年
箱根堰	42,076	0.0466	1,961	耐用年数50年
寒の神堰	5,173	0.0466	241	耐用年数50年
若の宮堰	12,798	0.0466	596	耐用年数50年
久保堰	39,412	0.0466	1,837	耐用年数50年
下川原堰	112,480	0.0466	5,242	耐用年数50年
山口堰	687,379	0.0466	32,032	耐用年数50年
古町堰	13,936	0.0466	649	耐用年数50年
灰爪堰	274,177	0.0466	12,777	耐用年数50年
滝谷堰	13,936	0.0466	649	耐用年数50年
十日市堰	27,761	0.0466	1,294	耐用年数50年
大塚堰	14,157	0.0466	660	耐用年数50年
小計	1,673,133		77,969	
ため池				
ため池 (18箇所：灰爪)	405,378	0.0418	16,945	耐用年数80年
	37,042	0.0511	1,893	耐用年数39年
ため池 (5箇所：滝谷)	92,520	0.0418	3,867	耐用年数80年
	6,636	0.0495	328	耐用年数42年
ため池 (1箇所：十日市)	13,370	0.0418	559	耐用年数80年
	1,424	0.0551	78	耐用年数33年
ため池 (2箇所：大塚)	53,480	0.0418	2,235	耐用年数80年
	259	0.0466	12	耐用年数50年
ため池 (14箇所：膳根)	475,511	0.0418	19,876	耐用年数80年
	31,858	0.0522	1,663	耐用年数37年
ため池 (10箇所：藤井)	153,856	0.0418	6,431	耐用年数80年
	120,718	0.0495	5,976	耐用年数42年
ため池 (1箇所：市野新田ダム)	17,871	0.0418	747	耐用年数80年
	2,478	0.0466	115	耐用年数50年
ため池 (2箇所：山口)	76,250	0.0418	3,187	耐用年数80年
	22,982	0.0483	1,110	耐用年数45年
小計	1,511,633		65,022	
集水井				
正明寺集水井	278,096	0.0418	11,624	耐用年数80年
	1,194	0.0466	56	耐用年数50年
下高町集水井	385,056	0.0418	16,095	耐用年数80年
	1,194	0.0466	56	耐用年数50年
刈羽集水井	176,484	0.0418	7,377	耐用年数80年
	1,187	0.0466	55	耐用年数50年
小計	843,211		35,263	
用水路				
藤井東江用水路	827,520	0.0505	41,790	耐用年数40年
膳根西江用水路	914,330	0.0505	46,174	耐用年数40年
膳根東江用水路	398,160	0.0505	20,107	耐用年数40年
古町堰用水路	325,109	0.0505	16,418	耐用年数40年
下川原堰用水路	41,807	0.0505	2,111	耐用年数40年
栗ノ木堰用水路	49,870	0.0505	2,518	耐用年数40年
平釣堰用水路	12,315	0.0736	906	耐用年数20年
佐水堰用水路	6,136	0.0736	452	耐用年数20年
石堰用水路	34,405	0.0736	2,532	耐用年数20年
山口堰用水路	26,482	0.0736	1,949	耐用年数20年
灰爪堰用水路	16,794	0.0736	1,236	耐用年数20年
久保堰用水路	12,315	0.0736	906	耐用年数20年
小計	2,665,243		137,099	

揚水機場				
高倉揚水機場	2,758	0.0466	129	耐用年数50年
高倉揚水機場上屋				
前田揚水機場	9,805	0.0466	457	耐用年数50年
豊田揚水機場	73,228	0.0466	3,412	耐用年数50年
豊田揚水機場上屋				
土合新田揚水機場	30,304	0.0736	2,230	耐用年数20年
土合新田揚水機場上屋	10,728	0.0000	0	耐用年数20年
剣揚水機場	30,857	0.0736	2,271	耐用年数20年
剣揚水機場上屋	12,830	0.0000	0	耐用年数20年
下大新田揚水機場	50,102	0.0736	3,688	耐用年数20年
下大新田揚水機場上屋	26,710	0.0000	0	耐用年数45年
長崎新田3号揚水機場	35,191	0.0491	1,728	耐用年数43年
長崎新田3号揚水機場上屋				
宮平揚水機場	23,779	0.0736	1,750	耐用年数20年
宮平揚水機場上屋	4,092	0.0000	0	耐用年数20年
廻谷揚水機場	31,809	0.0736	2,341	耐用年数20年
廻谷揚水機場上屋	18,570	0.0000	0	耐用年数20年
久米揚水機場	25,189	0.0736	1,854	耐用年数20年
久米揚水機場上屋	16,085	0.0000	0	耐用年数45年
西山揚水機場	44,374	0.0466	2,068	耐用年数50年
西山揚水機場上屋				
須山1号揚水機場	26,212	0.0736	1,929	耐用年数20年
須山1号揚水機場上屋	7,477	0.0000	0	耐用年数20年
須山2号揚水機場	25,327	0.0736	1,864	耐用年数20年
須山2号揚水機場上屋	5,254	0.0000	0	耐用年数20年
新堰揚水機場	20,793	0.0736	1,530	耐用年数20年
新堰揚水機場上屋	3,097	0.0736	228	耐用年数20年
黒滝揚水機場	56,734	0.0479	2,718	耐用年数46年
黒滝揚水機場上屋				
新道第1揚水機場	30,127	0.0736	2,217	耐用年数20年
新道第1揚水機場上屋	9,799	0.0736	721	耐用年数20年
新道第2揚水機場	32,866	0.0505	1,660	耐用年数40年
新道第2揚水機場上屋				
下方揚水機場	11,940	0.0505	603	耐用年数40年
下方揚水機場上屋				
枇杷島揚水機場	46,426	0.0505	2,345	耐用年数40年
枇杷島揚水機場上屋				
宮場揚水機場	25,298	0.0505	1,278	耐用年数40年
宮場揚水機場上屋				
半田揚水機場	12,510	0.0505	632	耐用年数40年
半田揚水機場上屋				
水久保揚水機場	8,618	0.0505	435	耐用年数40年
水久保揚水機場上屋				
鍋田揚水機場	12,510	0.0505	632	耐用年数40年
鍋田揚水機場上屋				
箱根揚水機場	56,700	0.0466	2,642	耐用年数50年
箱根揚水機場上屋				
向田揚水機場	25,709	0.0736	1,892	耐用年数20年
向田揚水機場上屋	14,093	0.0000	0	耐用年数20年
北の谷揚水機場	73,956	0.0466	3,446	耐用年数50年
北の谷揚水機場上屋				
水上揚水機場	73,956	0.0466	3,446	耐用年数50年
水上揚水機場上屋				
細越揚水機場	27,119	0.0736	1,996	耐用年数20年
細越揚水機場上屋	14,090	0.0000	0	耐用年数20年
小計	1,067,022		54,142	

県営経営体（北鯖石東部）					
	用水路	247,103	0.0505	12,479	耐用年数40年
	排水路	140,174	0.0505	7,079	耐用年数40年
	幹線・支線農道	147,586	0.0505	7,453	耐用年数40年
県営経営体（南条）					
	用水路	181,360	0.0505	9,159	耐用年数40年
	排水路	102,880	0.0505	5,195	耐用年数40年
	幹線・支線農道	108,320	0.0505	5,470	耐用年数40年
県営経営体（別俣）					
	用水路	22,670	0.0505	1,145	耐用年数40年
	排水路	12,860	0.0505	649	耐用年数40年
	幹線・支線農道	13,540	0.0505	684	耐用年数40年
県営経営体（田屋）					
	用水路	233,501	0.0505	11,792	耐用年数40年
	排水路	132,458	0.0505	6,689	耐用年数40年
	幹線・支線農道	139,462	0.0505	7,043	耐用年数40年
県営経営体（野田）					
	用水路	102,015	0.0505	5,152	耐用年数40年
	排水路	57,870	0.0505	2,922	耐用年数40年
	幹線・支線農道	60,930	0.0505	3,077	耐用年数40年
県営経営体（佐水）					
	用水路	90,680	0.0505	4,579	耐用年数40年
	排水路	51,440	0.0505	2,598	耐用年数40年
	幹線・支線農道	54,160	0.0505	2,735	耐用年数40年
県営経営体（上条）					
	用水路	210,831	0.0505	10,647	耐用年数40年
	排水路	119,598	0.0505	6,040	耐用年数40年
	幹線・支線農道	125,922	0.0505	6,359	耐用年数40年
県営経営体（高田南部）					
	用水路	197,229	0.0505	9,960	耐用年数40年
	排水路	111,882	0.0505	5,650	耐用年数40年
	幹線・支線農道	117,798	0.0505	5,949	耐用年数40年
県営経営体（枇杷島）					
	用水路	181,360	0.0505	9,159	耐用年数40年
	排水路	102,880	0.0505	5,195	耐用年数40年
	幹線・支線農道	108,320	0.0505	5,470	耐用年数40年
県営経営体（長崎）					
	用水路	54,575	0.0505	2,756	耐用年数40年
	排水路	32,150	0.0505	1,624	耐用年数40年
	幹線・支線農道	33,850	0.0505	1,709	耐用年数40年
県営経営体（下田尻）					
	用水路	63,476	0.0505	3,206	耐用年数40年
	排水路	36,008	0.0505	1,818	耐用年数40年
	幹線・支線農道	37,912	0.0505	1,915	耐用年数40年
県営経営体（上田尻）					
	用水路	113,350	0.0505	5,724	耐用年数40年
	排水路	64,300	0.0505	3,247	耐用年数40年
	幹線・支線農道	67,700	0.0505	3,419	耐用年数40年
県営経営体（平井）					
	用水路	185,894	0.0505	9,388	耐用年数40年
	排水路	105,452	0.0505	5,325	耐用年数40年
	幹線・支線農道	111,028	0.0505	5,607	耐用年数40年
県営経営体（安田）					
	用水路	317,380	0.0505	16,028	耐用年数40年
	排水路	180,040	0.0505	9,092	耐用年数40年
	幹線・支線農道	189,560	0.0505	9,573	耐用年数40年
県営経営体（中鯖石）					
	用水路	453,400	0.0505	22,897	耐用年数40年
	排水路	257,200	0.0505	12,989	耐用年数40年
	幹線・支線農道	270,800	0.0505	13,675	耐用年数40年
県営経営体（善根）					
	用水路	79,345	0.0505	4,007	耐用年数40年
	排水路	45,010	0.0505	2,273	耐用年数40年
	幹線・支線農道	47,390	0.0505	2,393	耐用年数40年

県営経営体（堀）					
	用水路	68,010	0.0505	3,435	耐用年数40年
	排水路	38,580	0.0505	1,948	耐用年数40年
	幹線・支線農道	40,620	0.0505	2,051	耐用年数40年
県営経営体（高田北部）					
	用水路	74,811	0.0505	3,778	耐用年数40年
	排水路	42,438	0.0505	2,143	耐用年数40年
	幹線・支線農道	44,682	0.0505	2,256	耐用年数40年
県営経営体（西中通西部）					
	用水路	544,080	0.0505	27,476	耐用年数40年
	排水路	308,640	0.0505	15,586	耐用年数40年
	幹線・支線農道	324,960	0.0505	16,410	耐用年数40年
県営経営体（中田）					
	用水路	102,015	0.0505	5,152	耐用年数40年
	排水路	57,870	0.0505	2,922	耐用年数40年
	幹線・支線農道	60,930	0.0505	3,077	耐用年数40年
県営経営体（西中通東部）					
	用水路	430,730	0.0505	21,752	耐用年数40年
	排水路	244,340	0.0505	12,339	耐用年数40年
	幹線・支線農道	257,260	0.0505	12,992	耐用年数40年
県営経営体（中通東部）					
	用水路	408,060	0.0505	20,607	耐用年数40年
	排水路	231,480	0.0505	11,690	耐用年数40年
	幹線・支線農道	243,720	0.0505	12,308	耐用年数40年
県営経営体（北条）					
	用水路	68,010	0.0505	3,435	耐用年数40年
	排水路	38,580	0.0505	1,948	耐用年数40年
	幹線・支線農道	40,620	0.0505	2,051	耐用年数40年
県営経営体（長嶺）					
	用水路	72,544	0.0505	3,663	耐用年数40年
	排水路	41,152	0.0505	2,078	耐用年数40年
	幹線・支線農道	43,328	0.0505	2,188	耐用年数40年
県営中山間（五日市）					
	用水路	78,793	0.0505	3,979	耐用年数40年
	排水路	48,972	0.0505	2,473	耐用年数40年
	幹線・支線農道	51,046	0.0505	2,578	耐用年数40年
県営中山間（西山内郷）					
	用水路	69,111	0.0505	3,490	耐用年数40年
	排水路	40,509	0.0505	2,046	耐用年数40年
	幹線・支線農道	42,651	0.0505	2,154	耐用年数40年
県営経営体（高田中部）					
	用水路	81,178	0.0505	4,099	耐用年数40年
	排水路	47,582	0.0505	2,403	耐用年数40年
	幹線・支線農道	50,098	0.0505	2,530	耐用年数40年
県営中山間（別俣二期）					
	用水路	240,462	0.0505	12,143	耐用年数40年
	排水路	140,946	0.0505	7,118	耐用年数40年
	幹線・支線農道	148,398	0.0505	7,494	耐用年数40年
県営経営体（善根二期）					
	用水路	81,178	0.0505	4,099	耐用年数40年
	排水路	47,582	0.0505	2,403	耐用年数40年
	幹線・支線農道	50,098	0.0505	2,530	耐用年数40年
県営中山間（田沢藤掛）					
	用水路	86,224	0.0505	4,354	耐用年数40年
	排水路	50,540	0.0505	2,552	耐用年数40年
	幹線・支線農道	53,212	0.0505	2,687	耐用年数40年
県営中山間（下山田）					
	用水路	15,577	0.0505	787	耐用年数40年
	排水路	9,131	0.0505	461	耐用年数40年
	幹線・支線農道	9,613	0.0505	485	耐用年数40年
小計		11,191,010		565,144	
総計				934,639	

(5) 非農用地創設効果

非農用地 区分	想定経費 ①(千円)	計画経費 ②(千円)	差引経費 ③=①-②(千円)	耐用年数 n(年)	還元率 ④	年効果額 ⑤=③×④
農道用地	12,771	711	12,060	100	0.0408	492
市道用地	1,419	80	1,339	100	0.0408	55
計						547

(6) 安全性向上効果

安全施設名	安全性確保投資額 ①(千円)	耐用年数 n(年)	還元率 ②	安全性向上効果 ③=①×②(千円)
ガードパイプ, フェンス	98,889	10	0.1233	12,194
計				12,194

(7) 文化財発見効果

経費区分	土地改良事業で 支出する経費 ①(千円)	耐用年数 n(年)	還元率 ②	年効果額 ③=①×②(千円)
調査費及び発掘費	177,313	100	0.0408	7,234
計				7,234

(8) 公共施設保全効果

当該土地改良事業 の総合耐用年数に 応じた資本還元率 ①	修正維持管理費節減効果		修正更新効果		修正一般交通等経費節減効果		計	
	妥当投資額 ②	年効果額 ③=②×①	妥当投資額 ④	年効果額 ⑤=④×①	妥当投資額 ⑥	年効果額 ⑦=⑥×①	妥当投資額 ⑧=②+④+⑥	年効果額 ⑨=③+⑤+⑦
0.0524	千円 △ 95,010	千円 △ 4,978	千円 1,225,089	千円 64,194	千円 6,772	千円 355	千円 1,136,851	千円 59,571
総合耐用年数 48 年								

(9) 河川流況安定効果

水系名	流況安定化 寄与水量 (m3) ①	原水開発単価 (円/m3) ②	妥当投資額 (千円) ③=①×②	耐用年数 (ダム) (年)	資本還元率 ④	年効果額 (千円) ⑤=③×④
鱈石川水系	498,303	10,479	5,221,717	80	0.0418	218,268
鵜川水系	258,771	10,479	2,711,658	80	0.0418	113,347
別山川水系	181,967	10,479	1,906,832	80	0.0418	79,706
計	939,041		9,840,207			411,321

(10) 地籍確定効果

現況経費① (千円)	計画経費② (千円)	耐用年数③ (年)	還元率④ (円) ②	年効果額 (千円) ⑤= (①-②) × ④
320, 891	526	100	0. 0408	13, 092

(11) 水辺環境整備効果

投資施設名		環境配慮 追加投資額 (千円) ①	還元率 ②	年効果額 (千円) ⑤=①×②	備考
1	【右岸幹線水路 親水エリア工】	H18時点			耐用年数
	水路本体工	3, 158	0. 0505	167	40年
	アスファルト舗装	792	0. 1233	103	10年
	路盤工	264	0. 0505	14	40年
	ふち石工	660	0. 0466	32	50年
	除草シート	198	0. 1233	26	10年
	人道橋	396	0. 0483	20	45年
	張芝	462	0. 0899	44	15年
	【後谷ダム 生態系保全エリア工】	H21時点			
	湧水処理工	243	0. 0673	16	23年
	管理用通路設置工	459	0. 0899	42	15年
合 計		6, 632		464	

(12) 保健休養機能向上効果

区分	農業投資サイド		レクリエーション投資サイド		コスト1単位当 り便益 ⑤= (②+④) ÷ (①+③)	効用指数 ⑥= (④-③× ⑤) ÷ ④	年効果額 ⑦=④×⑥ (千円)
	投資資本額 ① (千円)	年増加純益額 ② (千円)	投資資本額 ③ (千円)	年収益額 ④ (千円)			
利活用目的	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)			
修景の利用	241, 414	277, 202	42, 724	110, 815	1. 37	0. 47	52, 083

(13) 廃用損失額

(土地改良施設)

現況施設 (廃用施設)	設置年 (大改修 年次)	償却資産額 (現在換算額) (千円) ①	残 存 率			廃用損失額 (未償却 資産額) (千円) ⑤=①×④
			廃用時 までの 使用年数 ②(年)	今後の 使用可能 年数 ③(年)	残存率 ④=③/ (②+③)	
井堰						
藤井堰	S. 42	218,988	49	1	0.020	4,380
善根堰	S. 38	88,480	53	-3	0.000	0
一の堰	S. 25	20,691	66	-16	0.000	0
二の堰	S. 45	96,516	46	4	0.080	7,721
三の堰	S. 10	5,173	81	-31	0.000	0
箱根堰	S. 45	42,076	46	4	0.080	3,366
寒の神堰	S. 20	5,173	71	-21	0.000	0
若の宮堰	S. 45	12,798	46	4	0.080	1,024
小計						
久保堰	S. 46	39,412	45	5	0.100	3,941
下川原堰	S. 46	112,480	45	5	0.100	11,248
小計						
山口堰	S. 34	505,221	57	-7	0.000	0
古町堰	S. 28	79,632	63	-13	0.000	0
灰爪堰	S. 42	48,664	49	1	0.020	973
滝谷堰	H. 5	43,355	23	27	0.540	23,412
十日市堰	S. 41	30,968	50	0	0.000	0
大塚堰	S. 41	88,480	50	0	0.000	0
計		1,438,107				56,065
ため池						
ため池 (18箇所：灰爪)	不明	1,873,473				0
ため池 (5箇所：滝谷)	不明	520,407				0
ため池 (1箇所：十日市)	不明	104,081				0
ため池 (2箇所：大塚)	不明	208,168				0
ため池 (14箇所：膳根)	不明	1,457,165				0
ため池 (10箇所：藤井)	不明	1,040,815				0
ため池 (1箇所：別俣)	不明	104,081				0
ため池 (2箇所：山口)	不明	312,245				0
計		5,620,435				0
集水井						
正明寺集水井	不明	104,137				0
下高町集水井	不明	104,159				0
刈羽集水井	不明	104,116				0
計		312,412				0
用水路						
藤井東江用水路	S. 58	827,520	33	7	0.175	144,816
善根西江用水路	S. 57	914,330	34	6	0.150	137,150
善根東江用水路	S. 58	398,160	33	7	0.175	69,678
古町堰用水路	H. 3	322,828	25	-5	0.000	0
下川原堰用水路	S. 40	23,149	51	-31	0.000	0
栗ノ木堰用水路	S. 54	336,689	37	-17	0.000	0
平釣堰用水路	S. 44	12,315	47	-27	0.000	0
佐水堰用水路	S. 34	6,136	57	-37	0.000	0
石堰用水路	S. 46	34,405	45	-25	0.000	0
山口堰用水路	S. 34	26,482	57	-37	0.000	0
灰爪堰用水路	S. 42	16,794	49	-29	0.000	0
久保堰用水路	S. 46	12,315	45	-25	0.000	0
計		2,931,123				351,644

揚水機場	高倉揚水機場	S. 35	23,082	56	-36	0.000	0
	高倉揚水機場上屋	S. 35	4,866	56	-36	0.000	0
	小計						
	前田揚水機場	S. 58	23,005	33	-13	0.000	0
	豊田揚水機場	H. 3	48,885	25	-5	0.000	0
	豊田揚水機場上屋	S. 41	37,162	50	-5	0.000	0
	小計						
	土合新田揚水機場	S. 40	30,304	51	-31	0.000	0
	土合新田揚水機場上屋	S. 40	10,728	51	-31	0.000	0
	小計						
	剣揚水機場	S. 43	30,857	48	-28	0.000	0
	剣揚水機場上屋	S. 43	12,830	48	-28	0.000	0
	小計						
	下大新田揚水機場	H. 3	50,102	25	-5	0.000	0
	下大新田揚水機場上屋	H. 3	26,710	25	20	0.444	11,871
	小計						
	長崎新田3号揚水機場	S. 43	44,605	48	-28	0.000	0
	長崎新田3号揚水機場上屋	S. 43	17,032	48	-28	0.000	0
	小計						
	宮平揚水機場	S. 42	23,779	49	-29	0.000	0
	宮平揚水機場上屋	S. 42	4,092	49	-29	0.000	0
	小計						
	廻谷揚水機場	S. 58	31,809	33	-13	0.000	0
	廻谷揚水機場上屋	S. 58	18,570	33	-13	0.000	0
	小計						
	久米揚水機場	S. 60	25,189	31	-11	0.000	0
	久米揚水機場上屋	S. 60	16,085	31	14	0.311	5,004
	小計						
	西山揚水機場	S. 42	24,299	49	-29	0.000	0
	西山揚水機場上屋	S. 42	4,490	49	-29	0.000	0
	小計						
	須山1号揚水機場	S. 36	26,212	55	-35	0.000	0
	須山1号揚水機場上屋	S. 36	7,477	55	-35	0.000	0
	小計						
	須山2号揚水機場	S. 36	25,327	55	-35	0.000	0
	須山2号揚水機場上屋	S. 36	5,254	55	-35	0.000	0
	小計						
	新堰揚水機場	S. 36	20,793	55	-35	0.000	0
	新堰揚水機場上屋	S. 36	3,097	55	-35	0.000	0
	小計						
	黒滝揚水機場	S. 55	28,435	36	-16	0.000	0
	黒滝揚水機場上屋	S. 55	13,626	36	9	0.200	2,725
	小計						
	新道第1揚水機場	H. 5	30,127	23	-3	0.000	0
	新道第1揚水機場上屋	S. 22	9,799	69	-49	0.000	0
	小計						
	新道第2揚水機場	S. 54	41,265	37	-17	0.000	0
	新道第2揚水機場上屋	S. 54	27,396	37	8	0.178	4,870
	小計						
	下方揚水機場	S. 48	24,078	43	-23	0.000	0
	下方揚水機場上屋	S. 48	4,977	43	-23	0.000	0
	小計						
	枇杷島揚水機場	S. 47	56,848	44	-24	0.000	0
	枇杷島揚水機場上屋	S. 47	37,128	44	1	0.022	825
	小計						

	宮場揚水機場	S. 53	25, 189	38	-18	0. 000	0
	宮場揚水機場上屋	S. 53	16, 087	38	-18	0. 000	0
	小計						
	半田揚水機場	S. 47	29, 508	44	-24	0. 000	0
	半田揚水機場上屋	S. 47	20, 605	44	-24	0. 000	0
	小計						
	水久保揚水機場	S. 63	26, 854	28	-8	0. 000	0
	水久保揚水機場上屋	S. 63	14, 400	28	17	0. 378	5, 440
	小計						
	鍋田揚水機場	不明	26, 854				0
	鍋田揚水機場上屋	不明	14, 400				0
	小計						
	箱根揚水機場	S. 58	22, 817	33	-13	0. 000	0
	箱根揚水機場上屋	S. 58	11, 547	33	-13	0. 000	0
	小計						
	向田揚水機場	S. 61	25, 709	30	-10	0. 000	0
	向田揚水機場上屋	S. 61	14, 093	30	-10	0. 000	0
	小計						
	北の谷揚水機場	S. 53	24, 664	38	-18	0. 000	0
	北の谷揚水機場上屋	S. 53	12, 675	38	-18	0. 000	0
	小計						
	水上揚水機場	H. 3	23, 580	25	-5	0. 000	0
	水上揚水機場上屋	H. 3	12, 675	25	-5	0. 000	0
	小計						
	細越揚水機場	H. 2	27, 119	26	-6	0. 000	0
	細越揚水機場上屋	H. 2	14, 090	26	-6	0. 000	0
	小計						
	大沼揚水機場	S. 63	0	22	-2	0. 000	0
	大沼揚水機場上屋	S. 63	0	22	23	0. 511	0
	大沼揚水機場導水路	S. 63	0	22	28	0. 560	0
	小計						
	計		1, 233, 186				30, 735
	合 計						438, 444

(公共施設)

現況施設 (廃用施設)		設 置 年	償却資産額 (千円) ①	残 存 率			廃用損失額 (千円) ⑤＝①×④
				廃用時までの 使用年数 ②	今後の使用 可能年数 ③	残 存 率 ④＝③/ (②＋③)	
後谷ダム	(県道)	S. 30	758, 625	54	0	0. 000	0
	(町道)	不明	179, 400	不明	不明		0
	(町道)→右岸・左岸整備	不明	101, 000	不明	不明		0
栃ヶ原ダム (林道)		S. 47	111, 416	37	3	0. 075	8, 356
市野新田ダム (市道)		S. 50	93, 084	41	0	0. 000	0
計			1, 243, 525				8, 356